



成田図書館 職場体験レポート

松ノ木中学校2年生2人のレポートです。
7月4日（月）～8日（金）までの4日間、
図書館の仕事を体験してくれました。

仕事の内容：配架と書架整理・交換便の仕分け
本の装備・リサイクル本の装備
新着本の検品と蔵書印押し・お話会の
準備と実演・おすすめ本のPOP作成

感想：●「カウンターもやってほしいくらい」と言われて仕事を
しっかりできていたんだな、と実感できたことが印象的
でした。一人一人の存在の大切さを実感することができ
ました。

●きちんと丁寧に取り組む事と、日々の努力の積み重ねの
大切さを実感することができました。
どんな環境でも、丁寧にそして日々の努力を大切にしてい
こうと思いました。

POP展示 ～オススメ本～

《「だまし」に負けない心理学》

香山 リカ／著 技術評論社

- ★ 世の中にあふれるほど情報があり、見分けるのがむずかしい。なぜ人はだまされるのか。それに対抗するためにはどのようにすればよいのか。など、他にもいろいろな場面の事がとても分かりやすく書いてあります。あなたもこの本を読んだら、あなたの持っている何かを変えてくれるかもしれませんよ！

《スッコケ文化祭事件》

那須 正幹／著 ポプラ社



- ☆ 文化祭でくりひろげられる事件とは一体？

ハカセ・モーちゃん・ハ千ベエのクラスは6年1組。

冬休みが終わり、もうじき文化祭（学芸会）。

6年1組は劇をすることになりました。

近所の売れない童話作家（新谷さん）に台本をかいてもらい、

ハ千ベエを主役にしてほしいとねがいにいきます。

出き上がったもののクラスでは不評。

書きなおされることになりました。

新しい台本はクラス1の文学少女・水島かおりが書きなおしました。ハ千ベエとモーちゃんは劇で役をもらい、ハカセは裏方に決まりました。

「事件はないのかな」って思ったでしょ！？

問題はあります。それは勝手に新谷さんの台本をかきかえてしまったことです。話によれば、新谷さんは自分の作品に文句をいわれると、怒るといふ人のようです。

いったいどんな文化祭になるのでしょうか。